

課・タイトル	L8 友だちと話す②
ねらい	日常生活で友だちや親しい人と会話をすることができる。

パート	L8-1 友だちとサッカーしたよ
できること	・週末に何をしたか友だちに聞いたり、言ったりすることができる。
場面設定	月曜日の朝です。日本語学校の教室で留学生たちが話しています。週末行われたバーベキュー大会に行ったタンさんとマリーさんに、アルバイトで行けなかったキムさんがどうだったか聞いています。
場面会話	<p><b>用意するもの</b></p> <p>p.147 L7-2 場面会話 3コマ目の絵</p> <p><b>指導のポイント</b></p> <p>・場面会話に入る前に、p.147 L7-2の場面会話 3コマ目の絵を見せて、日曜日にバーベキュー大会があったこと、タンさんとマリーさんは行くと言ったが、キムさんは行かないと言ったことを確認します。続いて、この課の1コマ目の絵を見せて、「今日は月曜日です。ここは教室です。きのうは日曜日でした。バーベキュー大会がありました。」と言って、場面会話の設定を伝えます。</p> <p>・4コマ目タンさんのセリフ「ああ、たいへんだったね。」を言うときは、タンさん役の学習者にキムさんへのねぎらいの気持ちを声のトーンや表情で表すように、また、マリーさん役、ラマさん役の学習者もそのような表情をするように指導します。</p>
練習1	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「いきます」「いきません」「いきました」「いきませんでした」「いく」「いかない」「いった」「いかなかった」「たべました」「たべた」のことはカード(丁寧体の「いきます」「いきません」「いきました」「たべました」と普通体「いく」「いかない」「いった」「たべた」は文字の色を分ける)、「た」「った」「んだ」「した」「いた」「いだ」のカード各数枚、「ますけい」「たけい」のことはカード、「い・ち・り→った」「に・び・み→んだ」「し→した」「ぎ→いた」「ぎ→いだ」の文型カード、基本動詞+新出動詞(「たちます(L8)」「もちます(L8)」「まちます(L7)」「しにます(L8)」「よびます(L7)」「あそびます(L8)」「やすみます(L8)」「だします(L8)」「あるきます(L8)」「いそぎます(L7)」)のことはカード、基本動詞+新出動詞の絵カード、基本動詞+新出動詞(L7,L8)の過去形フラッシュカード(表に「～ます(例:いきます)」、裏に「～た(例:いった)」と書いたもの)数組、基本動詞+新出動詞(L7,L8)の動詞普通形過去否定形フラッシュカード(表に「～ませんでした(例:いきませんでした)」、裏に「～かった(例:いかなかった)」と書いたもの)数組、50音表 <b>*基本動詞はL7 授業のヒントに掲載</b></p> <p><b>動詞た形紹介</b></p> <p><b>テキスト p.164</b>①</p> <p>1コマ目、2コマ目の絵を見せて、それぞれの会話を言わせませす。セリフを見せて、「いった」「たべた」に注目させませす。「いった」「たべた」のことはカードを絵の近くに貼ります。</p> <p>続いて、①のモデル会話の絵を見せて、だれとだれが話しているかを確認させませす後、モデル会話を聞かせて、リピートさせませす。二人組にして、「先生と話します」「友だちと話します」と指示をし、それぞれ丁寧体、普通体で会話する練習をさせませす。</p> <p><b>動詞た形の作り方</b></p>

**テキスト p.164** ①**2グループ、3グループの動詞**

学習者に「2グループの動詞は何ですか。」「3グループの動詞は何ですか。」と聞きます。学習者が答えた動詞のことはカードを貼ります。最後に学習者から出なかった1グループの動詞のカードを貼ります。まず、「たべます」のことはカードを見せて、「ます」の上に「た」のカードを貼り、「たべた」とリピートさせます。同様に、数個の動詞を使って、2グループの動詞のた形の作り方を示します。続いて、「します」「きます」も同様に「ます」の上に「た」を貼って、「した」「きた」となることを示します。「た」のカードを外して、「ますけい」のことはカードを貼り、「ますけい」とリピートさせます。次に、「た」のカードを貼り直し、「たけい」のことはカードを貼って、「たけい」とリピートさせます。

続いて、2グループ、3グループの動詞た形のフラッシュカードを使って、カード表のます形(例:「たべます」)を見せて、た形(例:「たべた」)を言わせした後、カード裏を見せて、文字で確認させます。

**1グループの動詞**

次に、学習者に1グループの動詞を挙げさせ、出た動詞のことはカードを貼っていきます。最後に学習者から出なかった1グループの動詞のカードを貼ります。貼ったカードを「ます」の前の音によって5つに分けて、貼り直します。

## a. 「～います」「～ちます」「～ります」のグループ

(例:「あいます」「かいます」「たちます」「もちます」「まちます」「とります」「あります」など)

## b. 「～にます」「～びます」「～みます」のグループ

(例:「しにます」「よびます」「あそびます」「のみます」「よみます」「やすみます」など)

## c. 「～します」のグループ

(例:「はなします」「かします」「だします」など)

## d. 「～きます」のグループ

(例:「いきます」「かきます」「ききます」「あるきます」など)

## e. 「～ぎます」のグループ

(例:「いそぎます」「およぎます」など)

a～eのグループ別に、た形の作り方を下記のようにして示します。

aグループの動詞「あいます」「まちます」「とります」の「います」「ちます」「ります」の上に「った」を貼り、「い・ち・り→った」の文型カードを貼って、「～います」「～ちます」「～ります」の動詞のた形が「～った」になることを示します。

bグループの動詞「しにます」「あそびます」「よみます」の「にます」「びます」「みます」上に「んだ」を貼り、「に・び・み→んだ」の文型カードを貼って、「～にます」「～びます」「～みます」の動詞のた形が「～んだ」になることを示します。

cグループの動詞「はなします」「かします」の「します」上に「した」を貼り、「し→した」の文型カードを貼って、「～します」の動詞のた形が「～した」になることを示します。

dグループの動詞「かきます」「ききます」の「きます」の上に「いた」を貼り、「き→いた」の文型カードを貼って、「～きます」の動詞のた形が「～いた」になることを示します。ここで、場面会話1コマ目を見せて、会話

	<p>をさせ、「いきます」は「いった」ではなく、「いった」になることに注目させます。</p> <p>e グループの動詞「いそぎます」「およぎます」の「ぎます」の上に「いだ」を貼り、「ぎ→いだ」の文型カードを貼って、「～ぎます」の動詞のた形が「～いだ」になることを示します。</p> <p>a～e のグループ別に動詞た形フラッシュカードを使って、フラッシュカードの表のます形を見て、た形を言い、裏を見て文字で確認する練習をします。クラス全体で練習をした後、3、4人組で練習をします。グループ別に活用ができるようになったら、a～e のグループを混ぜて練習をします。</p> <p>1グループの活用ができるようになったら、2グループ、3グループの動詞のフラッシュカードも加えて練習させます。始めは動詞のグループ別に練習させますが、言えたら、今度は1～3グループの動詞のカードを混ぜて練習させます。</p> <p>その後、1)2)の絵カードを使って、会話をさせます。続けて、基本動詞＋新出動詞の絵カードを使って、た形を言わせます。</p> <p><b>テキスト p.165</b>③</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて、会話をさせ、セリフを見せて、「いかなかった」に注目させます。③のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせ、リピートさせて、「いきませんでした」「いかなかった」のこたばカードを貼ります。</p> <p>続いて、「いきます」「いきません」「いきました」「いきませんでした」を貼り、学習者に「友だちと話すときは？」と声をかけながら、「いく」「いかない」「いった」「いかなかった」を貼ります。「いかない」「いかなかった」を並べて貼り直し、「ない」と「なかった」に注目させます。</p> <p>次に動詞普通形過去否定形のフラッシュカードを使って、「～なかった」に活用する練習をします。続いて、1)2)の代入練習をします。</p>
<p><b>はなしましょう</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>なし</p> <p><b>できますか？</b></p> <p>月曜日の朝です。授業の前に学生が話しています。前の週に、マリーさんとキムさんが「週末、カラオケに行く。」と言っていたので、ラマさんが二人にカラオケに行ったかどうか聞きます。マリーさんが行ったと答えたので、重ねてどうだったか聞くと、キムさんが1時から7時まで歌ったと答えます。ラマさんはタンさんにもカラオケに行ったかと聞きます。タンさんは、行かなかった、友だちとゲームをしたと答え、ラマさんに何をしたら聞きます。ラマさんはアルバイトだったと答えます。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b></p> <p>友だち3人が話します。AがB、C二人に土曜日何をしたら聞きます。Bさんはみどり公園に行きました。B役の学習者には、絵を見て、Bさんになったつもりで答えさせてください。続けてBさんがCさんに何をしたら聞きます。最後に、CさんがAさんに何をしたら聞きます。C役、A役の学習者にはそれぞれ自由に答えるよう指示してください。</p>

<p><b>パート</b></p>	<p><b>L8-2 どうだった？</b></p>
<p><b>できること</b></p>	<p>・休みの日に何をしたら、どうだったか、友だちと話すことができる。</p>

<b>場面設定</b>	2月上旬の月曜日の朝です。日本語学校の教室で留学生のタンさん、キムさんが日曜日何をしたか話しています。
<b>場面会話</b>	<p><b>用意するもの</b> なし</p> <p><b>指導のポイント</b>          これまでは質問される側、答える側が固定されている会話を中心でしたが、この課からは互いに質問合ったり、自分から情報を提供し合ったりして話を進める会話を練習します。          「でも(予想や推測と異なることを表す)」「ふうん(新情報を聞いたことを表す)」「あ(思い付きを表す)」「ああ(納得を表す)」などの言葉が二人の発話をつないでいます。場面会話を聞いて、それらの言葉を発話する際にも声のトーンに注意するように指導します。</p>
<b>練習1</b>	<p><b>用意するもの</b>          「さむい」「さむくない」「さむかった」「さむくなかった」「おもしろい」「おもしろくない」「おもしろかった」「おもしろくなかった」のこぼカード、「どうだった?」「どうでしたか。」「おもしろかった?」「うん、おもしろかった。」「うん、おもしろくなかった。」「おもしろかったですか。」「はい、おもしろかったです。」「いいえ、おもしろくなかったです。」のこぼカード、「いいです。」「よくないです。」「よかったです。」「よくなかったです。」のこぼカード、p.132①のモデル会話の絵、「はい、たのしかったです。」「いいえ、たのしくなかったです。」のこぼカード、基本い形容詞の絵カード数組、基本い形容詞の普通形過去形フラッシュカード(表にい形容詞「～いです(例:おもしろいです)」、裏に「～かった(例:おもしろかった)」)と書いたもの数組、基本い形容詞の普通形過去否定形のフラッシュカード(表に「～くないです(例:おもしろくないです)」、裏に「～くなかった(例:おもしろくなかった)」)を書いたもの数組</p> <p><b>&lt;基本い形容詞&gt;</b>          「たかい(L2)」「やすい(L2)」「おいしい(L2)」「おおきい(L2)」「ちいさい(L2)」「おもい(L2)」「かるい(L2)」「あまい(L5)」「からい(L5)」「にがい(L5)」「すばい(L5)」「しおからい(L5)」「とおい(L6)」「ちかい(L6)」「いい(L6)」「わるい(L6)」「ながい(L2)」「みじかい(L2)」「あたらしい(L6)」「ふるい(L6)」「おおい(L6)」「すくない(L6)」「はやい(L6)」「おそい(L6)」「おもしろい(L2)」「たのしい(L6)」「おずかしい(L6)」「いそがしい(L7)」</p> <p><b>い形容詞普通形過去形・過去否定形の作り方</b>  <b>テキスト p.170①</b>          場面会話 2 コマ目、3 コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「さむかった」「どうだった?」「おもしろかった」に注目させ、「さむかった。」「どうだった?」「おもしろかった。」のこぼカードを貼ります。続いて、学習者を二人組にして、互いに学習者に「きのうの夜、何を食べた?」「どうだった?」と昨日のことを聞き合わせます。その後、①のモデル会話の絵を見せて、絵の登場人物が友人関係であることを確認します。その後で、モデル会話を聞かせて、リピートさせ、「おもしろかった?」「うん、おもしろかった。」「うん、おもしろくなかった。」のこぼカードを貼ります。その後、学習者 3 人を前に出し、3 人は友だちではなく、会社員だと言い、会社員ならどう言うかを考えて言わせます。3 人が、「おもしろいですか。」「はい、おもしろいです。」「いいえ、おもしろくないです。」と言ったら、そのこぼカードを貼り、「です」に注目させて、友だちの</p>

	<p>会話の場合は、「です」がないことを示します。場面会話 2 コマ目、3 コマ目の「さむかった」「どうだった?」「おもしろかった。」の下に「さむかったです。」「どうでしたか。」「おもしろかったです。」のことばカードを貼ります。また、「いいです」「よくないです」「よかったです」「よくなかったです」のことばカードを貼って、活用に注意させます。</p> <p>続いて、い形容詞普通形過去形フラッシュカード、過去否定形フラッシュカードを使って、活用の練習をさせます。3、4 人のグループにして、フラッシュカードを配布して、練習をさせます。その後、基本的形容詞の絵カードを見せて、「～いです」と言わせ、続いて、「～い」「～くない」「～かった」「～くなかった」と普通形を言わせます。続いて、3、4 人のグループにして、絵カードを配布して、練習をさせます。</p> <p>その後、1)～3)の代入練習をします。</p> <p><b>テキスト p.170</b>②</p> <p>場面会話 3 コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「どうだった?」に注目させて、「どうだった?」のことばカードを貼ります。そして、登場人物が友人関係であることを確認します。次に、「先生と話します。そのときは?」と学習者に問いかけ、「『どうでしたか。』ですね。」と言い、「どうでしたか。」のことばカードを貼ります。その後、②の絵を見せて、二人組で会話をさせます。</p>
練習2	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「きれいだった。」「かんとんだった?」「うん、かんとんだった。」「うん、かんとんじゃなかった。」「きれいでした。」「かんとんでしたか。」「はい、かんとんでした。」「いいえ、かんとんじゃありませんでした。」「かんとんじゃなかったです。」のことばカード、「かんとんです」「かんとんじゃありません」「かんとん(だ)」「かんとんじゃない」「かんとんでした」「かんとんじゃありませんでした」「かんとんじゃなかったです」「かんとんだった」「かんとんじゃなかった」のことばカード、p.126①のな形容詞の絵カード、基本的形容詞の普通形過去形のフラッシュカード(表に「～(です)(例:かんとんです)」、裏に「～だった(例:かんとんだった)」と書いたもの)数組、基本的形容詞の普通形過去否定形のフラッシュカード(表に「～じゃないです(例:かんとんじゃないです)」、裏に「～じゃなかった(例:かんとんじゃなかった)」と書いたもの)数組</p> <p><b>&lt;基本的形容詞&gt;</b></p> <p>「げんき(な)(L6)」「しんせつ(な)(L6)」「へん(な)(L6)」「べんり(な)(L6)」「たいせつ(な)(L6)」「ひま(な)(L6)」「たいへん(な)(L6)」「かんとん(な)(L6)」「きれい(な)(L6)」「にぎやか(な)(L6)」「しずか(な)(L6)」「すき(な)(L6)」「きらい(な)(L6)」「じょうず(な)(L6)」「へた(な)(L6)」</p> <p><b>な形容詞普通形過去形・過去否定形の作り方</b></p> <p><b>テキスト p.171</b>①</p> <p>場面会話 4 コマ目を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「きれいだった」に注目させ、「きれいだった。」のことばカードを貼ります。登場人物が友人関係であることを確認します。次に、「先生と話します。そのときは?」と学習者に問いかけ、「きれいでした。」のことばカードを貼り、リピートさせます。続いて、①のモデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせて、リピートさせます。「かんとんだった?」「うん、かんとんだった。」「うん、かんとんじゃなかった。」のことばカードを貼った後、登場人物が友人関係であることを確認します。次に、「先生と話します。そのときは?」と学習者に問いかけ、「かんとんでしたか。」「はい、かんとんでした。」「いいえ、かんとんじゃありませんでした。」「かんとんじゃなかったです。」のことばカードを貼り、リ</p>

	<p>ピートさせます。そして、「かんたんです」「かんたんじゃありません」を貼って、その下に、「かんたん(だ)」「かんたんじゃない」を貼ります。続いて、「かんたんでした」「かんたんじゃありませんでした」「かんたんじゃなかったです」を貼って、その下に「かんたんだった」「かんたんじゃなかった」を貼ります。「～でした」が「～だった」に、「～じゃありませんでした」「～じゃなかったです」が「～じゃなかった」になることを示します。</p> <p>その後、な形容詞普通形過去形フラッシュカードを使って、カード表の「～(だ)(例:かんたん(だ))」を見せて、「～だった(例:かんたんだった)」を言わせ、裏を見せて、文字で確認させます。続いて、な形容詞普通形過去否定形のフラッシュカードを使って、カードの表の「～じゃない(例:かんたんじゃない)」を見て、「～じゃなかった(例:かんたんじゃなかった)」と言わせ、裏を見せて、文字で確認させます。さらに、3、4人のグループにして、フラッシュカードを配布し、グループで活用の練習をさせます。</p> <p>その後、1)～3)の代入練習をします。</p>
<p><b>練習3</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「アルバイトだった?」「やすみだった。」「いいしあいだった。」「テストだった?」「うん、テストだった。」「ううん、テストじゃなかった。」「アルバイトでしたか。」「やすみでした。」「いいしあいでした。」「テストでしたか。」「はい、テストでした。」「いいえ、テストじゃありませんでした。」「テストじゃなかったです。」のことばカード</p> <p>「どうだった?」「いつだった?」「どんなゲームだった?」のことばカード</p> <p>名詞「テスト」「やすみ」「子ども」「きんようび」「いい アルバイト」「ゆうめいな ひと」「おもしろい ゲーム」の普通形過去形フラッシュカード(表に「～です(例:テストです)」、裏に「～だった(例:テストだった)」を書いたもの)数組、上と同じ名詞の普通形過去否定形フラッシュカード(表に「～じゃない(例:テストじゃない)」、裏に「～じゃなかった(例:テストじゃなかった)」を書いたもの)数組、疑問詞「いつ」「どこ」「だれ」「どう」「いくら」「なに」「どんな ゲーム」の普通形過去形フラッシュカード(表に「～です(例:いつです)」、裏に「～だった(例:いつだった)」を書いたもの)数組</p> <p><b>名詞普通形過去形、過去否定形の作り方</b></p> <p><b>テキスト p.171</b>③①</p> <p>場面会話1コマ目、3コマ目の絵を見せて、会話をさせます。セリフを見せて、「アルバイトだった?」「やすみだった。」「いいしあいだった。」に注目させ、「アルバイトだった?」「やすみだった。」「いいしあいだった。」のことばカードを貼ります。登場人物が友人関係であることを確認します。次に、「先生と話します。そのときは?」と学習者に問いかけ、「アルバイトでしたか。」「やすみでした。」「いいしあいでした。」のことばカードを貼り、リポートさせます。「でした」が「だった」になっていることを示します。続いて、①のモデル会話の絵カードを見せて、会話を考えさせた後、モデル会話を聞かせます。リポートさせた後、「テストだった?」「うん、テストだった。」「ううん、テストじゃなかった。」を貼り、続いて、「テストでしたか。」「はい、テストでした。」「いいえ、テストじゃありませんでした。」「テストじゃなかったです。」を貼ります。「テストじゃない」が「テストじゃなかった」になることを示します。</p> <p>続いて、名詞普通形過去形のフラッシュカードを使って、表の「～です(例:テストです)」を見て、「～だった(例:テストだった)」と言わせ、裏を見せて文字で確認させます。名詞だけでなく、名詞修飾の語例(例:いいしあいだった)も入れて練習をします。</p> <p>同様に、名詞普通形過去否定形のフラッシュカードを使って、同様に「～じゃない」と「～じゃなかった」</p>

	<p>を言わせて、活用の練習をさせます。できたら、3、4人のグループにして、グループで練習をさせます。</p> <p><b>テキスト p.172</b>②③</p> <p>場面会話3コマ目の絵を見せて、会話をさせた後、セリフを見せて、「どうだった？」に注目させ、「どうだった？」のことはカードを貼ります。続いて、②の絵を見せて会話をさせてから、「いつだった？」のことはカードを貼ってレポートさせます。次に、③の絵を見せて会話をさせてから、「どんなゲームだった？」のことはカードを貼ってレポートさせます。その後、疑問詞普通形過去形のフラッシュカードを使って、表の「～(だ)(例:いつ(だ))」を見て、「～だった(例:いつだった)」を言う練習をさせます。</p>
<p><b>練習4</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>「なに?」「かいた?」「かく。」「おずかしい?」「おずかしくない。」「かんたん。」のことはカード、「かきます」「かく」「かかない」「かいた」「かかなかった」「します」「さびいです」「いいです」「ゆうめいです」「こともです」のことはカード、「ふつうけい」のことはカード</p> <p><b>動詞・い形容詞・な形容詞・名詞の普通形</b></p> <p><b>テキスト p.172</b>④①</p> <p>モデル会話の絵を見せて、モデル会話を聞かせ、レポートさせます。セリフを見せて、「何?」「かいた?」「かく。」「おずかしい?」「おずかしくない。」「かんたん。」に注目させ、それらのことはカードを貼ります。それら全体を手で示して、「普通形」であると言い、「ふつうけい」のことはカードを貼ります。</p> <p>その後、p.173の表を使って各品詞の普通形を確認します。3、4人のグループでp.173の表に普通形を書かせます。続いて、ホワイトボードに表と同じように表を書いて、そこに学習者数名に分担して普通形を書かせ、クラス全体で確認をします。その後、グループ内で、一人の学習者に動詞、い形容詞、な形容詞、名詞のことは選んで丁寧形で書かせて、他の学習者にその普通形を言わせたり、書かせたりして、練習をさせるといいでしょう。</p>
<p><b>はなしましょう</b></p>	<p><b>用意するもの</b></p> <p>なし</p> <p><b>できますか?</b></p> <p>学校で、留学生のタンさんとマリーさんが話しています。タンさんがマリーさんに昨日はアルバイトだったかと聞くと、マリーさんは休みだったと答えます。続けて、マリーさんが暑いからどこにもいかなかったと言うと、タンさんは、自分は海へ行ったと言います。マリーさんがどうだったか聞くと、タンさんは人が多かったと答えます。マリーさんは自分は家でビデオを見たと言います。</p> <p><b>じゆうにはなしましょう</b></p> <p>学習者を二人組にして、二人はクラスメートで、友だち同士であると伝えます。そして、二人で週末何をしたか話させます。時間があれば、練習したペアとは異なる二人で、週末に何をしたか、会話をさせるといいでしょう。</p>

<b>アクティビティ</b> ー	<b>用意するもの</b> 学習者に休みの日にしたこと絵を描かせるための用紙(写真を持ってこさせてもよい)、映画のポスターの写真または絵 <b>はなしましょう</b> 友だちと普通体を使って話すことが課題です。(1)(2)の会話を参考に、二人組にしてモデルの会話をさせます。その後、自分たちで応用して会話をさせます。 例:きのう、アルバイトした? / テスト、終わった? / (映画のポスターを見ながら)この映画、見た? など (1)も(2)も、相手を変えて練習をさせます。 <b>いいましょう</b> (2)の会話をもとに、自分が休みにしたこと絵を簡単に描いて、話をさせます。可能なら、写真を持ってこさせて、写真を見せながら話させるといいでしょう。
<b>よみましょう</b>	<b>指導のポイント</b> 普通体で書かれた文章を読むことが課題です。まず一人で読ませて、だれが書いたか、だれが読むか、ワーンさんはどんな人か、ジョンさんは何をしたかなど、わかったことを2~4人のグループで話し合かせます。その後、また一人で「しつもん1」「しつもん2」の答えを考えさせます。考えたことをグループで話し合かせます。最後に、クラス全体でメールの内容と質問の答えを確認します。
<b>かきましょう</b>	<b>指導のポイント</b> アクティビティの「いいましょう」で話したことや「よみましょう」で読んだことを参考に、書かせます。まず、学習者をアクティビティで活動した人とは違う人と二人組にして、最近どこか旅行をしたか、どこか出かけたかを10分ほど話し合かせます。その後、「わたしは~へ行きました。」を書き出しにして書かせます。普通体ではなく、丁寧体で書くように指示してください。書いたら、読んで、わかったことを伝え合います。わからないことがあったら、質問をするようにと言います。